

職員・共同組織のみなさんへ

ミサイルではなくケアを！

平和な社会で医療・介護を守り前進させる政治になるよう選挙に関わろう

2024年10月12日

京都民医連理事会

10月9日、石破茂首相は衆議院を解散し、15日公示27日投開票の総選挙がはじまります。国民が求める裏金問題の真相究明や統一教会との癒着解明にも背を向け続けてきた政治を大本から変えるチャンスです。ぜひ投票に行き、私たちの意思を示しましょう。

医療機関、介護事業所の経営は、かつてない困難に直面しています。2023年度の医療機関の倒産は55件と過去最多となり、2024年1～6月の介護事業所倒産も81件と過去最多のペースです。長引くコロナ禍で医療・介護現場は疲弊し、異常な物価高騰の進行もあり、医療・介護経営の基盤は揺らぎ、医療崩壊・介護崩壊といえる状況が既に生まれています。社会保障を削減する路線がこれ以上続けば、医療難民、介護難民が生まれ、地域住民のいのちと健康は守れません。

相次ぐ消費税増税、年金削減、社会保険料の負担増を国民には強いながら、アメリカの圧力に屈して5年間で43兆円もの大軍拡をすすめる今の政治は絶対に間違っています。

この状況を変えるには、ケアの視点で「非戦・人権・暮らし」を高く掲げ、平和で公正な社会を実現しようと呼びかけてきた民医連のたたかいがますます大事です。「ミサイルではなくケアを！」との声を今上げる時です。

石川県能登半島では正月の大地震に続き豪雨による水害で国の支援を必死に求めています。その取り組みはあまりに遅い状況です。政治を変え、人に優しい社会目指して、主権者の行使として投票にいきましょう。